

# わたしたちは、自分が住んでいる地域の 政府の法律に従うべきことを信じる

次のシナリオを読んでください。

ダリアが伝道している所では、教会の建物の外で福音を分かち合うことを政府が許可していません。もっと公然と話せるなら、イエス・キリストの福音を受け入れる人々が街にいることを知っているのに、いらだちを感じています。救い主について教えるため、こっそり街頭で人々に話しかけることを考えています。

- あなたならこの状況にどのように対応しますか。

以下の資料を読んでください。天の御父がダリアに何をしよう望んでおられるか彼女が理解するために、これらがどのように助けとなるか考えましょう。

教義と聖約58：21-22

信仰簡条1：12

1テモテ2：1-3

政府と宗教の間で起こり得る対立に救い主がどのように対処されたかを知るために、マタイ22：15-22と、大管長のダリン・H・オークス管長による次の言葉を読んでください。



「信仰を持つ人は皆、神の律法を尊んでいますが、そのほとんどが民法もまた神によって定められたことを認めています。主イエス・キリストは、『それでは、カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい』（マタイ22：21）と指示なさいました。このように教えられていることから、わたしたちはできるかぎり、両方の法体系に従わなければなりません。明らかな対立があるときは、調和を見いだすよう努める必要があります。まったく相いれないときは、同じ考えを持つ人々と一緒に、神の律法と合うように民法を改正する努力をすべきです。一方を支持するために他方を軽視する決断をするときには—このような状況はごくまれですが—いかなる場合も決断前にきわめて慎重に検討する必要があります。」（Dallin H. Oaks, “The Boundary between Church and State” [address given at the Second Annual Sacramento Court/Clergy Conference, Oct. 20, 2015], [newsroom.ChurchofJesusChrist.org](http://newsroom.ChurchofJesusChrist.org)）

次の質問に答えてください。

- 奉仕している地域の法律を尊ぶべきだとダリアが理解するのに役立つ、どのようなことを学びましたか。
- 自分の住んでいる場所の法律に従うことは、なぜイエス・キリストの福音の原則なのだと思いますか。